

2006 年度

<p>科目名</p> <p style="text-align: center;">コミュニティ研究演習</p>	<p>対象学科・学年</p> <p style="text-align: center;">文学部コミ3回生</p>	<p>担当者</p> <p style="text-align: center;">豊島 修</p>
<p>授業テーマ</p> <p style="text-align: center;">教室では学ぶことのできない社会の仕組みや人のつながりを学ぶ</p>		
<p>授業の概要と目標</p> <p>コミュニティ研究演習はコミュニティ関係学科の中心となる科目です。1年次では学科の問題領域の基礎理論（「街づくり論」、「生涯学習論」、「ボランティア論」など）を学び、2年次では具体的な問題意識をもって活動するためのツールである「社会調査方法論」や「フィールド・リサーチ」を学習してきました。これらをふまえて、ここではみなさんが各自関心をもったテーマにしたがって情報を収集し、理解を深めるために実際の現場においてフィールド・ワーク（調査研究）を行い、最終的に報告書にまとめます。</p> <p>この体験学習は、4年次の卒業研究にも生かすことができます。</p>		
<p>評価方法</p> <p style="text-align: center;">フィールド・ワークの実施前・実施後の研究、報告書、受け入れ先の評価等をみて、総合的に評価します。</p>		
<p>テキスト</p> <p style="text-align: center;">各自の調査研究に合ったものを随時配布</p>	<p>著者</p>	<p>出版社</p>
<p>参考書</p> <p style="text-align: center;">随時配布</p>	<p>著者</p>	<p>出版社</p>
<p>授業スケジュール・内容</p> <p><内容></p> <p>コミュニティ研究演習は通年科目として実施されます。実際の現場における体験や調査は、そのなかの80時間（80時間というのは、1日8時間を2週間実施として考えています）を目安としています。あくまで目安であり、研究演習先との相談で変更する可能性があります。フィールド・ワークの実施期間は6月および夏休み（8-9月半ばまで）を原則とします。参加要件としてフィールド・ワーク実施前にはテーマに関する研究のほか基本的なマナー等の講習を行います。そして、フィールド・ワーク終了後は報告書の作成および発表を行います。</p> <p><スケジュール></p> <p>フィールド・ワークの希望先については2年次の後期から担当教員と話し合っているため、3年次ではフィールド・ワークを含めた全体計画書を作成するところからはじまります。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「コミュニティ研究演習」のオリエンテーション（受講生全員）（4月） 2. 担当教員の指導をうけて各自フィールド・ワーク計画書を作成（4月） 3. 担当教員の指導のもと、各自研究テーマについて調査を開始（4月） 4. マナーおよびビジネス・レターの書き方の講習をうける（受講生全員）（5月） 5. 各自フィールド・ワークの実施（原則6,8,9月） 6. フィールド・ワーク受け入れ先より大学に評価が送付される（10月） 7. 担当教員の指導のもと、各自報告書を作成する（10-12月） 8. フィールド・ワークの報告をプレゼンテーション（受講生全員）（2006年1月） <ul style="list-style-type: none"> * プレゼンテーションは通常の報告の形態に限らず、幅広い手法（映像・動画）を含むのも可能。 9. 総合評価による成績が出される（2月） 		